

授業アドバイスシート

【小学校国語①】

日常的に文や文章の中で適切に使えるように、
漢字学習の取組を工夫しよう

実態

- 漢字を文の中で正しく使うことについて、「調査のたいしょう→対象」の正答率は33.8%、「かんしんをもつ→関心」の正答率は29.3%であり、漢字の読み書きについて課題が見られます。

対策

- 児童自身が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章中の正しい使い方を習得できるようにしましょう。

これまでの小学校調査における漢字の読み書きの愛知県の正答率

平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
・券	98.4%	・標識	90.1%	・招く	90.1%	・快晴だ	75.3%
・子孫	79.0%	・街灯	86.2%	・信念	86.2%	・貯金する	97.5%
・採集する	62.7%	・勢い	71.6%	・承知した	71.6%	・省く	78.7%
・やく	71.5%	・さら	97.8%	・あびる	97.8%	・たねをまく	84.3%
・ていしゃ	41.7%	・いわう	56.2%	・鳥のす	56.2%	・したい	72.8%
・もうける	49.6%	・よぼうする	73.8%	・びょういん	73.8%	・そうだんする	59.1%
愛知 67.2%		愛知 79.2%		愛知 78.6%		愛知 78.0%	
全国 69.0%		全国 81.1%		全国 82.6%		全国 80.7%	
差 -1.8 ポイント		差 -1.9 ポイント		差 -4.0 ポイント		差 -2.7 ポイント	

平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度 (令和元年度)	
・参加たいしょう	36.1%	・せい造	70.6%	・調査のたいしょう	→ 対象 33.8% (41.9%)
・きぼう者	75.3%	・せつ備	80.4%	・友達にかぎらず	→ 限らず 59.4% (69.4%)
・期限	93.3%	・しょう毒	80.2%	・かんしんをもつ	→ 関心 29.3% (35.6%)
・事務室	86.5%	・かん理	60.5%	※漢字を書いて解答する設問 () 内は全国	
・おいてある	73.5%	・せつ極的	47.0%	愛知 40.8%	
・指示	72.8%			全国 49.0%	
愛知 77.3%		愛知 63.6%		差 -8.2 ポイント	
全国 79.4%		全国 67.0%			
差 -2.1 ポイント		差 -3.4 ポイント			

<対策のポイント>

- 自分や友達が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を辞書で調べたり、前後の関係から、どの漢字を使うのが適切かを自分で考えたりしながら、文や文章の中で正しい使い方を習得する機会を意図的に設定しましょう。
- 機械的に繰り返し書くだけの漢字練習にならないように留意し、漢字や熟語を用いた例文を自分で考える学習を取り入れましょう。

「考えて覚える」漢字学習を行おう

- ・ 機械的に繰り返し書くだけの学習では、なかなか漢字は定着しません。なかには、漢字に対する苦手意識をさらに強めてしまう子供もいます。楽しみながら漢字に触れる場を設定し、子供たちが主体的に漢字学習に取り組むような指導に努めましょう。

段階的な漢字指導

- 低学年・・・漢字の字形と具体的な事物（実物や絵）とを結び付け、漢字に対する興味や関心を高めましょう。
- 中学年・・・漢字のへん、つくりなどの構成を教え、漢字のもつ意味を考えながら使うように指導しましょう。
- 高学年・・・漢字のもつ意味を正しく理解させ、同訓異字や同音異義語に注意して使うように指導しましょう。

様々な場面で、既習漢字を積極的に使う意識をもたせよう

- ・ 授業だけでなく、作文、日記、連絡帳等、様々な書く活動において、既習漢字を積極的に使うよう指導しましょう。子供同士で書いたものを読み合い、正しく使用しているかどうか評価する活動を取り入れたり、教師が朱書きを入れたりなど、意識化を図ることが大切です。そして、日常生活で活用できたことに対して、認めたり価値付けをしたりすることで、子供たちに自信をもたせ、読み書きの確かな定着へつなげていきましょう。

同音異義語の学習指導を工夫しよう

- ・ 同音異義語の学習指導では、同じ音からいくつかの熟語を思い浮かべ、それぞれの意味を考えて文脈にふさわしい熟語を選んで書けるようにすることが大切です。
- ・ クイズ形式で出題したり、同音異義語をグループ対抗で集めたりするなどして、楽しみながら学び、同音異義語に対する認識と興味・関心を高めていきましょう。

取組例① 「委員会からのお知らせ文」を見直そう（漢字の理解を深める取組・高学年向け）

いろいろな同音異義語を入れた案内で、どの漢字を選ぶのが正しいのかを、いろいろな確かめ方で友達と相談しながら考えていく実践です。

①～⑤のように、いろいろな考え方で正解に迫ることを学びましょう。

6年生のみなさんへ

6年企画委員会

バスケットボール大会のお知らせ

1 日 時 9月30日（水）3、4時間目

2 集合場所 体育館

3 試合方法 トーナメント戦

4 連 絡

- ・ 大会当日まで、期間 ①〔原定・限定〕で、体育館を②〔解放・開放・快方〕します。練習をしたい人は、放課後に③〔着て・来て〕ください。
- ・ 体育委員がカギを④〔明ける・開ける・空ける〕ので、玄関の前で待っていてください。
- ・ まだ、暑い日が続くので、お茶を忘れずに⑤〔待って・持って〕きてください。

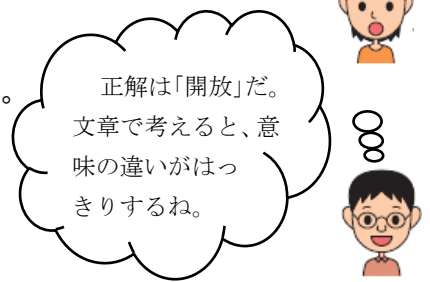
① 訓読みしたときの漢字の意味から考える。

- 「原」…はら 【意味】平らで広く、多く草などが生えた土地。
- 「限」…かぎ（る）【意味】事物にさかいをつける。範囲を定める。



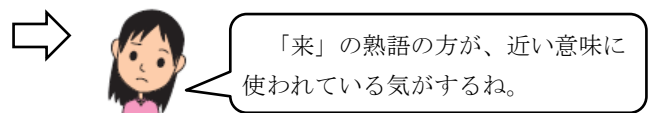
② 同じ音をもつ熟語を辞書で調べ、例文を作って考える。

- 「解放」…テレビで、人質が解放されたニュースが流れていた。
- 「開放」…このドアの開放は厳禁です。
- 「快方」…祖母の病気が快方へ向かう。



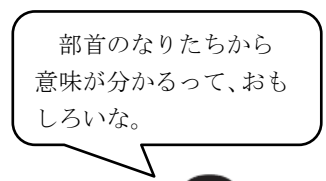
③ その字を含む熟語に置き換えて、漢字の意味を考える。

- 着 → 「着用」「到着」「着実」・・・
- 来 → 「来客」「来年」「伝来」・・・



④ 異なる使い方から、漢字の意味を考える。

- 「明」…明けましておめでとう。夜が明ける。
- 「開」…窓を開ける。ふたを開ける。
- 「空」…板に穴を空ける。アパートの部屋が空く。



⑤ 部首のなりたちや意味から漢字の意味を考える。

- 「待」部首：行人偏【意味】十字路の半分の形で「みち」「おこなう」。
- 「持」部首：手偏【意味】5本の指のある手からできた「て」。



（参考）平成 29 年度全国学力・学習状況調査 国語 A7

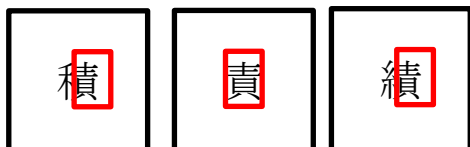
取組例② 漢字カード「短冊」集め (漢字の理解を深める取組・中高学年向け)

同じ音の漢字など、ルールを決めて個人やグループで漢字カードを作成し、集めていく実践です。同音異義語・部首・画数など、学習の目的によって様々な取り組み方が可能です。

① 同じ音で読む漢字集め

【同音異義語など、同じ音で読む漢字集め】

例 <せき>積・責・績 <せいちょう>成長・生長・清聴 …

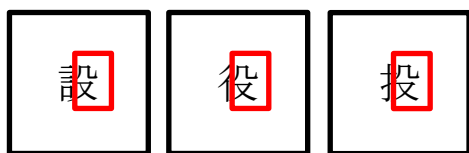


形も読み方も同じだね！
どう使い分けているか
調べてみよう。

② 似た形の漢字集め

【同じ部分をもつ漢字や似た形の漢字集め】

例 <読みの違う漢字>設・役・投 <似た形の漢字>完・官・管



「へん」によって違う
意味をもつのかな。
辞書で調べてみよう。

③ 間違えやすい漢字集め

【児童が日常生活で見つけた間違えやすい漢字集め】

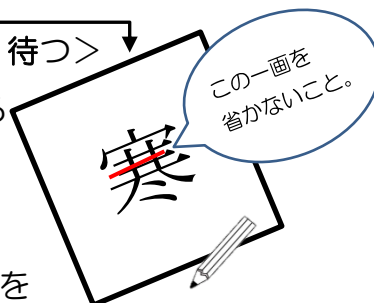
例 書き間違えやすい漢字…<寒> <特徴・微生物> <持つ・待つ>

使い間違いやすい漢字…<つとめる>務める・努める・勤める

<あやまる>誤る・謝る

<あたたかい>温かい・暖かい

- 並べて掲示したり、間違えやすい部分を色付けしたり、文例を挙げたりして、児童が比較できるような掲示をしたい。



→漢字の成り立ち、部首の意味、読み仮名や送り仮名の書き込み、その漢字を使った例文を書き加えるなどの工夫をし、文脈の中で使い分けることができるようにすると効果的です。


<ポイント>

- 日常生活の中で児童が漢字に触れることができるように、言語環境を整えましょう。
- 授業時間の他、朝の活動の時間を利用するなどして、教室内に掲示されているカードや短冊の漢字を選んで短文づくりをするなど、短時間の学習を継続的に行いましょう。

(参考) 平成30年度全国学力・学習状況調査報告書 P.49

取組例③ ひらがな「お知らせ」を直そう！（低・中学年向け）

ひらがなで書かれた文書について、漢字に直していく実践です。辞書が活用しやすい取組です。

平仮名で書かれた「お知らせ」	必要に応じて国語辞典や漢字辞典を引く活動を取り入れると、より効果的となる。	第6学年児童が書き直した「お知らせ」
<p>4ねんせいのみなさんへ</p> <p>ほうそういいんかい</p> <p>いいんかいかつどうのたいけんのおしらせ</p> <p>1 にちじ 2がつ19にち(げつ)～2がつ22にち(もく) 10じ25ふんから10じ45ふんまで</p> <p>2 しゅうごうばしょ たもくてきルーム</p> <p>3 さんかたいしょう 4ねんせいのさほうしゃ</p> <p>4 もうしこみげんともうしこみほうほう ・ 2がつ14にち(すい)までにもうしこんでください。 ・ じむつまえにもうしこみようしとはがおいであります。ようしにクラスとなまえをかいて、ほこにいらしてください。</p> <p>5 おねがい ・ どうじつは、ぜんいんがたいけんできるように、ほうそういいんのしじにしたがってください。</p>		<p>4年生のみなさんへ</p> <p>放送委員会</p> <p>委員会活動の体験のお知らせ</p> <p>1 日時 2月19日(月)～2月22日(木) 10時25分から10時45分まで</p> <p>2 集合場所 多目的ルーム</p> <p>3 参加対象 4年生の希望者</p> <p>4 申し込み期限と申し込み方法 ・ 2月14日(水)までに申しこんでください。 ・ 事務室前に申し込み用紙と箱が置いてあります。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。</p> <p>5 お願い ・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の指示にしたがってください。</p>
	<p>新出漢字を使うこと、相手に応じどこまで漢字を使うか等考えると、効果的である。</p>	

(平成29年度全国学力学習状況調査 報告書より)

取組例④ 変換ミスを直そう！（高学年向け）

間違い探しのように、正しい同音異義語に直していく実践です。PCで行うことも可能です。

変換ミスを直そう！（例）

○ 間違っている部分に線を引き、正しい漢字に直した文を書きましょう。

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| ① 夜が開けたので、窓を空ける。 | → 夜が <u>明</u> けたので、窓を <u>開</u> ける。 |
| ② お皿に映したケーキを、写真に移す。 | → お皿に移したケーキを写真に <u>写</u> す。 |
| ③ 細菌は体調が悪く、実家に寄生虫だ。 | → <u>最</u> 近は体調が悪く、実家に <u>帰</u> 省中だ。 |
| ④ 自動会役員2名が、歯科医を担当する。 | → <u>児</u> 童会役員2名が、 <u>司</u> 会を担当する。 |
| ⑤ 大将を受賞した二作品は | → <u>大</u> 賞を受賞した二作品は |

ポイント①

大正的な内容だ。
正答を文で書かせることにより、対象や意味によってどう使い分ければよいか意識させることができる。

ポイント②

対照的な内容だ。
漢字の意味や成り立ちなどについてより理解を深められるよう、グループ活動などを設定するとよい。

(参考) 日本漢字能力検定協会HP

授業アドバイスシート

【小学校国語②】

児童が「自分の考え」を明確にし、その考えの理由を正しく記述できるよう、指導を工夫しよう

実態

- 設問1「公衆電話について調べたことを報告する文章」の問題で、1三「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」の正答率が24.3%（全国比-4.5ポイント）と低かったです。解答累計を見ると、二つある資料の片方からしか内容をまとめていない解答が25.2%、報告文にふさわしい表現で書くことができていない解答が8.3%ありました。

考えの理由や根拠を明確に捉え、適切に表現することができていないという実態が分かります。



対策

調べたことを報告書にまとめる活動では、以下の2点に留意しましょう。

- ① 「児童が調べて分かったこと」を基にして「自分の考え」を明確にできるよう、「児童が調べて分かったこと」を視覚的に整理しましょう。
- ② 「児童が調べて分かったこと」と「自分の考え」を区別し、そのことが分かる文末表現となるように心掛けて指導しましょう。

<対策のポイント>

- 「児童が調べて分かったこと」を視覚的に整理しましょう。
 - ・ 「児童が調べて分かったこと」を付箋等に記述し、児童から様々な「自分の考え」が出るように掲示の仕方を工夫しましょう。
 - ・ 児童が「自分の考え」を明確に持てるよう、「児童が調べて分かったこと」を、「自分の考え」の理由となるかならないかで区別する活動を設定しましょう。
- 「児童が調べて分かったこと（事実）」と「自分の考え（感想・意見）」を区別して記述させることに心掛けましょう。
 - ・ 一文の中に、事実と感想・意見の両方を記述しないようにしましょう。
 - ・ 事実は言い切りの表現とし、感想・意見は「～と思う」「～と考える」という表現とするなど、はっきりと区別できる文末表現となるように気を付けましょう。
 - ・ 教材文等を用いた学習の中で、事実と筆者の感想・意見が区別して表されていることを確かめましょう。

取組例 学校生活で気になることを調べて、報告する文章を書こう

「学校生活で気になること」についての報告書を作成するために、前時までに調べたことを整理し、必要な事柄を取捨選択して自分の考えを明確にする実践です。

○ 前時までに、調べて分かったことを付箋紙で整理し、自分の考えをもたせておきます。

【調べて分かったこと】

- けがの起こった時間
 - ・休み時間など
 - ↓多くの人が自由に行動するとき
- けがの起こった場所
 - ・校庭、体育館、教室など
 - ↓多くの人が遊んだり学習したりする場所
- 学年別のけがの件数
 - 四月から十月
 - ・六年（四十二件）
 - ・五年（三十七件）
 - ・四年（三十五件）
 - ↓学年ごとの差はあまりない
- けがの起こった原因
 - ・人とぶつかった、飛んできたボールが当たったなど
 - ↓他の人も関わること

【調べたこと】

- ・けがの起こった時間
- ・けがの起こった場所
- ・学年別のけがの件数
- ・けがの起こった原因

Aさんの気になること
「学校内で起こるけがが増えていること」

分かったことを結び付けて見ていくと、けがを減らす解決策が見付かるかもしれない。

けがは自分だけが原因で起こるわけではないんだな。

学年とけがの件数は関係ないかもしれない。

多くの人が集まって活動することとけがが関係しているかもしれない。

○ 「分かったこと」を整理しながら、自分の考えを明確にできるようにします。

必要な事柄を取捨選択しながら、自分の考えを明確にしよう。

ねらいをしっかりと押さえる

取り除いた事柄

学年別のけがの件数
四月から十月
・六年（四十二件）
・五年（三十七件）
・四年（三十五件）
↓学年ごとの差はあまりない

これは、自分の伝えたいことに必要な事柄ではないから、取り除いてもよさそうだな。

分かったこと

- けがの起こった時間
 - ・休み時間など
 - ↓多くの人が自由に行動するとき
- けがの起こった場所
 - ・校庭、体育館、教室など
 - ↓多くの人が遊んだり学習したりする場所
- けがの起こった原因
 - ・人とぶつかった、飛んできたボールが当たったなど
 - ↓他の人も関わること

考えたこと

けがを減らすためには、自分が注意することはもちろん、その場に居る人みんながおたがいに気をつけることが大切だ。

記述の際には、文末表現を書き分けるよう意識させる。

【整理の状況】

調べて分かったことを整理して、自分の考えをピンクの付箋に書いて貼ろう。分かったことと自分の考えは、ずれていないかな。

調べたこと

1 調査のきっかけ

2 調べたこと

3 調査の結果をもとに考えたこと

保健室の先生に聞いてみたところ、最近、けがの件数が増えていることだった。そこで「学校内で起こるけが」について調べた。

ポイント

自分の考えをまとめる際には、事柄の内容を関係付けて考えることができるようにすることが大切です。また、選んだ事柄が自分の考えの理由や事例として、ふさわしいかどうかを吟味することも大切です。

「考えたこと」の付箋を違う色にして、報告する文章を書く際に事実との区別を付けられるようにします。

(参考) 平成31年度(令和元年度)授業アイデア例(国立教育政策研究所教育課程研究センター)

授業アドバイスシート

【小学校国語③】

必要な情報を得るために、話し手の意図を捉えながら聞くなど、話す・聞く活動の充実を図ろう

実態

- 設問3「豊職人へのインタビューに関する問題」で、3二「相手に応じて質問を工夫する」設問の正答率が62.5%（全国比-4.9ポイント）、3三「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」設問の正答率は63.2%（全国比-5.0ポイント）と、「話す・聞く」領域について課題が見られます。

対策

- ① 質問をする際には、誰からどのようなことを聞くのか明確にさせましょう。
- ② インタビューで得た情報を目的に応じて整理し、自分の考えがまとめられるようにしましょう。

<対策のポイント>

- よりよいインタビューの仕方を身に付けることができるようにしましょう。
 - ・ 身近な人物を取り上げ、インタビューの機会を作りましょう。
 - ・ インタビューのモデルを作成し、それを基に、基本的なインタビューの仕方を理解させましょう。
 - ・ 質問について話し合い、児童一人一人が自分なりのインタビューができるようにしましょう。
- 自分の考えをまとめる方法を身に付けさせましょう。
 - ・ 目的に応じて、インタビュー前の考えを基に聞き出したいことを具体化するようにしましょう。
 - ・ インタビューで得た情報と自分の考えを関係付けながら整理できるようにしましょう。

取組例 わたしたちの学校のプロフェッショナルにインタビューをしよう

身近な方にインタビューをする活動を通じて、目的に応じた質問の仕方を工夫したり、自分の考えを形成したりすることを目指す実践です。



学校にいて、私たちの学校生活を支えて下さっている、栄養士さんや図書館司書さんなど、プロフェッショナルの方々を調べて紹介し合い、学校のことをもっと知りましょう。

学習過程例

〈主な学習活動〉

〈指導上の留意点〉

学習過程	主な学習活動	指導上の留意点
第一次	① 自分の学校のプロフェッショナルを紹介し合うという課題を設定し、紹介したい人物を選ぶ。	■ 学校を支えている人々について経験を基に話し合う機会を設け、興味をもった人物の魅力調べて紹介し合うという学習の見通しをもつことができるようにする。
第二次	② インタビューの目的を明確にし、聞き出したい内容を整理する。 〈活動A〉	■ それぞれの人物についてのエピソードを伝え、インタビュー前の自分の考えをもつことができるようにする。 ■ インタビュー前の自分の考えを基に友達と話し合う機会を設け、「選んだ人物の魅力を明らかにするために、～について聞きたい」という目的を明確にすることができるようにする。
	③ インタビューのモデルを基に質問の仕方について話し合ったり、質問に対する回答を予想したりする。 〈活動B〉	■ インタビューの様子をモデル（ここでは本問をアレンジしたもの）として示し、質問の仕方について捉えることができるようにする。 ■ 質問に対する回答を予想するように促し、必要に応じて聞く質問を考えたり、詳しく聞きたいことを挙げたりすることができるようにする。
	④ インタビューをする。	■ 聞き出したいことは何かを明確にもち、相手の意図を捉え、話の展開に沿って目的に応じた質問をすることができるようにする。 ■ ICレコーダーやタブレットPCなどにより、インタビューの様子を記録することで、自分の質問の仕方を振り返ることができるようにする。
第三次	⑤ インタビューで得た情報を整理し、自分の考えをまとめる。 〈活動C〉	■ 必要な情報を得ることができたかどうかを質問の仕方についても確認しながら話し合うことで、目的に応じた効果的な質問について振り返ることができるようにする。 ■ 聞き出したかったことは何かを中心に、インタビュー前の自分の考えと比べながらまとめることで、目的を明確にして情報を整理し、自分の考えをまとめることができるようにする。 ■ 必要に応じて再インタビューをすることができるようにする。
	⑥⑦ 集めた情報をまとめて紹介し合い、単元の学習を振り返る。	■ リーフレットなどにまとめて紹介し合い、インタビューの成果を実感し、本単元で身に付いた力や、今後の学習などに生かしたいことについて振り返ることができるようにする。

第二次（2時間目） インタビューの目的を明確にし、聞き出したい内容を整理する 〈活動A〉



栄養士の〇〇先生は、この仕事を30年も続けているそうです。学校行事や季節、子どもたちの様子などを踏まえて、常に3か月先の献立まで考えているそうですよ。

インタビューの前に学校を支えている人々のエピソードを伝え、自分の考えをもったり、予想を立てたりしながら、「～について聞きたい」という目的を明確にすることができます。



インタビュー前の自分の考え（予想）

聞き出したい内容



30年間も続けているなんてすごいな。「おいしかった」と言ってもらえることにやりがいを感じているのかもかもしれない。
いろいろなことを考え、先のことまで見通して立てている献立には、プロとしてのこだわりがありそうだな。

仕事のやりがいは何か。

献立を立てるときのプロとしてのこだわりは何か。

インタビュー

第二次（3時間目） インタビューのモデルを基に質問の仕方について話し合う <活動B>

質問の意図
【話の内容を確認する】
A 自分の理解が正しいかどうかを確認する。
B 分からない言葉の意味を確認する。
【相手から考えを引き出す】
C 相手が繰り返し返した言葉を使い、詳しく聞く。
D 相手が答えやすいように言葉をかえて聞く。

①岸さん 大谷さんはどのようなところに豊の魅力があると思われ
ますか。
 大谷さん 私の店の豊について言えば、（以下略）
 ②岸さん それはつまり、細部までいいねに手作業で作るので、
一枚も同じものはないということでしょうか。A
 大谷さん そうです。間取りに合わせたり、お客様の要望に応えたり
して作るのです。
 ③岸さん 間取りとは何のことですか。B
 大谷さん 間取りとは、どのような大きさの部屋がどのように並んで
いるかということです。間取りに合わせてお客様に
応えたりするのは、職人としての腕の見せどころです。職人
としての腕をみがぐためにいろいろと学びました。
 ④岸さん 職人としての腕をみがぐために、どのようなことを親方
から教わったのですか。C
 大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。とに
かく親方の仕事ぶりをよく見ていました。
 ⑤岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身に
つけたのですか。A
 大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。実際に自
分で行ってやることを何度もくり返すのです。（以下略）
 ⑥岸さん そのような思いをもっていたのですか。他に、どのような
思いや考えをもつて、五十年間仕事を続けてきたのですか。
 大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。
すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切
にしてきたことや心構えはありますか。D
 大谷さん そうですね。五十年も職人をしていいますが、いまだに完
ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分
が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作
らうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてい
たことですかね。

【設問3「インタビューの様子」を基に作成したインタビューモデル】

質問について話し合いました

よい質問だと思ったのはどれですか。また、それはなぜですか。

③は自分が分からない「間取り」という言葉について質問をしているのでよいと思います。

④は「職人としての腕」という大谷さんが繰り返し返した言葉を使って、さらに質問をしているのがよいと思います。

⑦は「思いや考え」という言葉を「大切にしてください」とか「心構え」にかえたのでよいと思います。

⑧は「思いや考え」ほくも⑦がよいと思います。言葉をかえたら質問の意味がよく伝わり、大谷さんの考えを引き出すことができています。

第三次（5時間目） インタビューで得た情報を整理し、自分の考えをまとめる <活動C>

「献立を立てるときのプロとしてのこだわりは何ですか」と質問をしたらはっきりした答えがなかったけれど、聞き方がよくなったのかな。

「献立を立てるとときに大切にしていることは何ですか」のように言葉をかえて聞いてみたらこだわりが聞き出せたかもしれないよ。（D）

栄養のバランスの大切さについて繰り返して言っていたから、「栄養のバランスのよい献立を立てるためにどのような工夫をしていますか」と栄養士の先生の言葉を使ってさらに詳しく聞いたのは、よかったよね。（C）

そうだね。一食にすごくたくさんの食材を使っていることが分かったね。それが、プロとしてのこだわりなのかもしれないね。もう一度インタビューに行ってみようよ。

やりがいは、予想と同じでみんなが「おいしかった」と言ってくれることだったね。でも、みんなの健康を考えて、材料にまで気を遣っていることは知らなかったね。

みんなが喜んで食べてくれるから大変なことでも頑張ることができるなんてすごいね。カレーの辛さを低学年と高学年で変えているのは、みんなに「おいしかった」と言ってもらうためかもしれないね。

みんなのことを考えて作ってくれていると思っていたけれど、こんなに考えてくれているとは思わなかったよ。



可能であれば、デジタルカメラなどの動画モード等を利用して動画を撮り、繰り返し聞くことで、インタビューの内容や相手の意図を聞き取る練習にしたい。

（参考）平成31年度（令和元年度）授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）